



愛川ふれあいの村 1 月の風景

平成 30 年 1 月 自然のたより

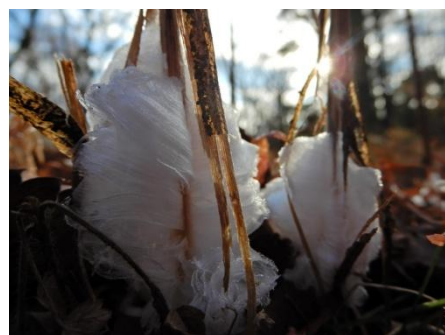
1 月は木芽月（このめづき）とはいいますが花は咲き、鳥や動物は餌を求めて活動しています。木の隙間や石の下で寒さをしのぐ虫も観察できます。静まり返っているように見える世界でも生き物たちは確実に存在しています。人も待ち遠しい“春”を生き物たちと一緒に待ちましょう。



ロウバイ



アオキの葉痕



大きな氷の華



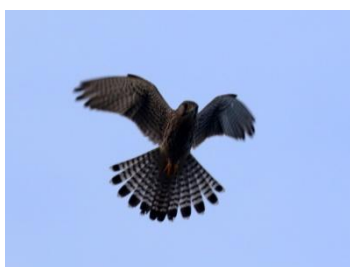
ルリビタキ



シメ



ヤブツバキ



チョウゲンボウ



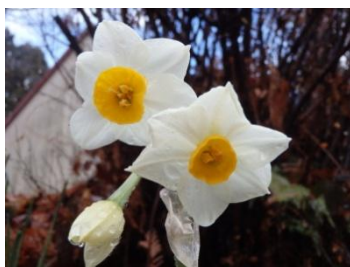
霜柱越しの太陽



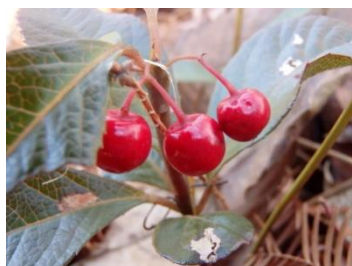
ジョウビタキ



オオバイノモトソウ



スイセン



ヤブコウジ



クチベニゴケ



ウラギンシジミ♀



ツグミ

◆1月7日◆

～なぜ七草粥を食べるのか～

なぜ1月7日に七草*粥を食べるのか本当の理由を知っていますか。“正月のご馳走続きで疲れた胃を休めるため”という説もありますが、少し違います。

1月7日(人日の節句)は、3月3日(上巳の節句)、5月5日(端午の節句)、7月7日(七夕の節句)、9月9日(重陽の節句)と合わせて『五節句』と呼ばれています。節句は中国の暦で祝い事が行なわれる日のことです。昔から中国では“奇数がそろふ日は邪気を呼び込む”と考えられていたため節句の日に祝い事を行ない、邪気を祓っていました。七草粥を食べるのが1月1日で無いのは、元旦だけは年初めの祝い事で別格とされていたためです。そして、中国では元日から7日までの日付に意味を持たせる習慣**があり、人日の7日に“人を大切にしよう”とされていました。平安時代の日本にこの考え方が伝わった時に、日本の豊作を祝う風習と合わさり1月7日に七草粥を食べて1年の豊作と健康を祝う風習が出来上がりました。

普段何気なく行っていることから歴史に触れてみるのも面白いものです。栄養満点の七草を日々の料理に取り入れて、1年元気に過ごしましょう。長く続いているこの風習を大切にしていきたいものです。(清水)

*セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの7種類が有名ですが、これといって決まりは無いそうです。

**古来中国では元日を『鶏』、2日を『犬』、3日を『猪』、4日を『羊』、5日は『牛』、6日は『馬』、7日は『人』の日として、それぞれの日にはその対象を大切にしようとしていました。



▲ハコベラ

★ロゼット (バラの花) ★

冬場は植物も寒さを感じているのでしょうか。冬は体(茎)を縮こませています。あれっ、茎が無い。そうロゼットとは根から直接出た放射状の葉をいい、地を這うように丸い形を作ります。その形からバラの花にたとえられました。メリットとしては葉を広げることで効率的に光を受けます。夏もあるロゼットですが、冬場は背の高い植物が枯れよく観察できます。丸型ロゼットは地面をきれいに飾ります。

この時期にロゼットで過ごす植物を見つけておけば、春にどんな花が咲くのか楽しみになることでしょう。

(石川)



▲ミチタネツケバナ

★みかんの皮★

寒さが厳しい季節になりました。そんな日は“コタツでみかん”と言うのが昔からの日本の風景です。普段、みかんを食べたら皮は捨てますよね。しかし、多くの人は一度はみかんの皮を口にしてはいます。

それもそのはず、『七味唐辛子』に陳皮(ちんぴ)*と言う名でみかんの皮が入っているのです。そして、みかんの皮には冷え症や肩こりを改善する成分があります。みかんをお風呂に浮かべたり、食事の中に摂りいれたりしてみかんの皮で寒さ対策を試みるのはいかがでしょうか。(鷺山)

*陳皮…みかんの皮を乾燥させたもの



▲オニグルミの葉痕

◎二月の注目ポイント◎
冷え込みの激しかった朝、山野草園のシモバシラという植物に氷の華(表紙の写真参照)が出来ます。一度出来ると茎の部分が割れその後は小さな結晶となってしまうますが、とても美しい光景です。
さて今の時期は、落葉樹は葉を落として見通しがよく鳥類の観察に最適です。オニグルミはふれあいの村の炊事場付近にあります。鳥達にとって休憩の場所ですが、ツグミやシロハラ、ヒヨドリやスズメがいます。時々どこからともなくニホンリスが現れ来村された皆様の心を和ませてくれます。
そんなオニグルミの枝先を見ると、小さな顔がこちらを見つめています。春を待つ冬芽と葉を落とした後にできる葉痕です。冬芽と葉痕は、植物の種類によって違ってきますのでその特徴で見分けるのも面白いです。村のロビーには、冬芽と葉痕の展示コーナーもありますのでご覧ください。(吉田)

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・石川雄馬・清水友哉・鷺山裕

編集：吉田文雄・石川雄馬・渡部秋人



愛川ふれあいの村で、検索★